

生活スタイルに合わせて変化し始めた 今どきの大掃除実態

生活者研究センター
ファブリック&ホームケア研究室

大掃除は日本で古くから広く行われている年末行事ですが、近年、その捉え方には変化がみられます。背景には女性の社会進出による共働き世帯の増加や生活スタイルの多様化などにより、年末に大掃除をする時間を確保しにくくなったこと、また住宅設備の進化により、防汚・イージーケア化が進んだことなどが考えられます。そこで、年末の大掃除を中心に年間を通じた掃除の実態を把握するとともに、大掃除に対する意識を調査しました。(2017年日本家政学会年次大会にて発表)

- 年末の大掃除実施率は約6割。理由は「新年を気持ちよく迎えるために」
- 年末以外の時期の大掃除実施率は増加傾向
- それぞれの家庭の生活スタイルや季節に合わせて実施
- 家をきれいに保ちたいから、年末にこだわらずに大掃除

【調査概要】

「大掃除の意識実態」

調査期間：2013年1月、2017年1月
 調査方法：インターネット調査
 調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性
 回答者数：各1,000人

「年末の大掃除実態」

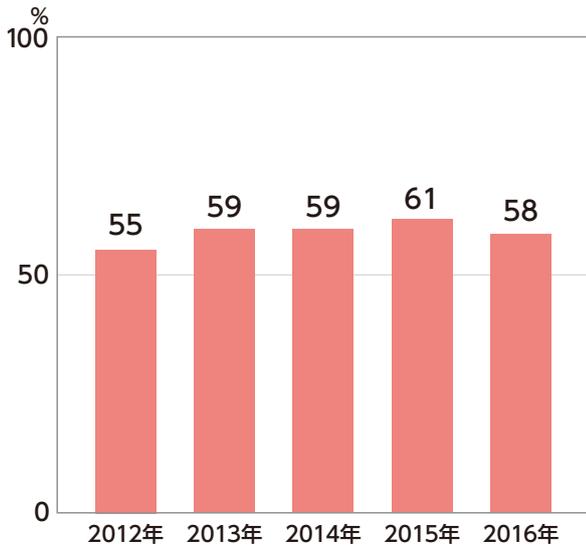
調査期間：2013年1月、2014年1月、2015年1月、
2016年1月、2017年1月
 調査方法：インターネット調査
 調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性
 回答者数：各1,000人

「大掃除と普段の掃除実態・行動観察」

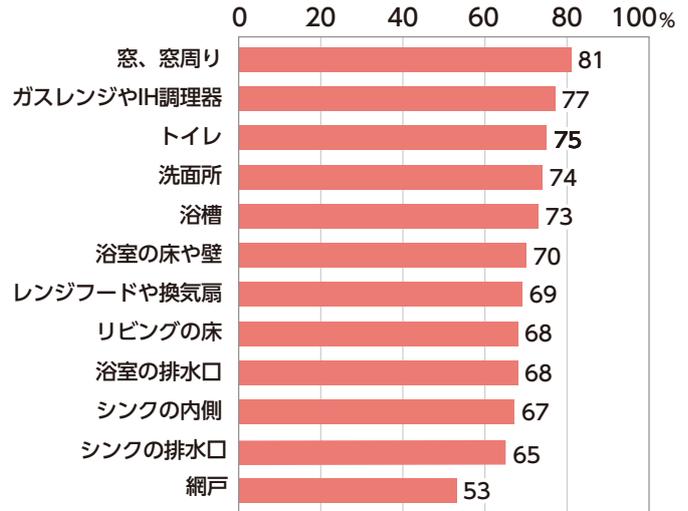
調査期間：2016年4～7月、12月
 調査方法：家庭訪問インタビュー
 調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性
 対象者数：15人

年末の大掃除実施率は約6割。 理由は「新年を気持ちよく迎えるために」

年末の大掃除実施率は60%前後で過去5年間は横ばい状態です(図1)。主な実施場所は、窓周り、ガスレンジ、水周り(トイレ、洗面所、浴室)など、普段なかなかできない場所、掃除の手間のかかる場所が多くみられました(図2)。年末に行う理由としては「新年を気持ちよく迎えたかった」が年代を問わず1位で、「我が家の恒例・習慣」との回答は若年になるほど順位が下がり、20代では「天気が良かった」「夫が協力してくれた」「休みが多かった」といった、掃除を実施しやすい環境にあったことの方が上位にきています(表1)。



20~60代 既婚女性 各1,000人(花王調べ)



2016年末に大掃除を行った 20~60代既婚女性 521人(複数回答)
(花王 生活者研究センター調べ)

(図1) 年末の大掃除実施率

(図2) 2016年末に大掃除を行った場所

(表1) 2016年末に大掃除を行った理由

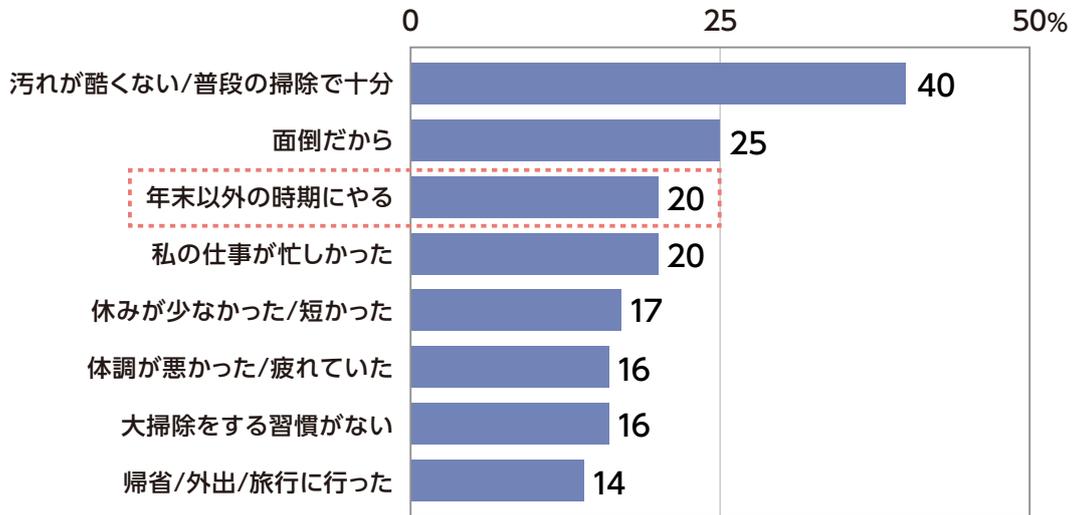
(単位:%)

	20代(114*)	30代(122)	40代(132)	50代(110)	60代(121)
1位	新年を気持ちよく迎えたかった 54	新年を気持ちよく迎えたかった 57	新年を気持ちよく迎えたかった 62	新年を気持ちよく迎えたかった 71	新年を気持ちよく迎えたかった 69
2位	天気が良かった 34	汚れが酷かった/ 普段の掃除では不十分 31	汚れが酷かった/ 普段の掃除では不十分 42	我が家の恒例/習慣 44	我が家の恒例/習慣 48
3位	夫が協力してくれた 34	我が家の恒例/習慣 30	我が家の恒例/習慣 42	汚れが酷かった/ 普段の掃除では不十分 33	汚れが酷かった/ 普段の掃除では不十分 32
4位	汚れが酷かった/ 普段の掃除では不十分 31	夫が協力してくれた 30	日本の伝統/習慣 33	夫が協力してくれた 32	天気が良かった 32
5位	休みが多かった 25	日本の伝統/習慣 29	天気が良かった 27	天気が良かった 30	気温が暖かかった 29
6位	日本の伝統/習慣 23	天気が良かった 28	夫が協力してくれた 23	日本の伝統/習慣 30	夫が協力してくれた 26
7位	我が家の恒例/習慣 22	休みが多かった 17	気温が暖かかった 17	体調が良かった 26	日本の伝統/習慣 24
8位	外出の予定が なかった 18	体調が良かった 15	体調が良かった 17	気温が暖かかった 26	体調が良かった 22
9位	気温が暖かかった 14	仕事が忙しく なかった 14	子どもが 協力してくれた 14	外出の予定が なかった 18	来客の予定があった 15
10位	出産/ 子どもが小さい 14	外出の予定が なかった 13	休みが多かった 13	子どもが 協力してくれた 14	外出の予定が なかった 11

*20代のみ追加サンプル78人を含む
2016年末に大掃除を行った 20~60代既婚女性 599人(複数回答/上位10項目)
(花王 生活者研究センター調べ)

年末以外の時期の大掃除実施率は増加傾向

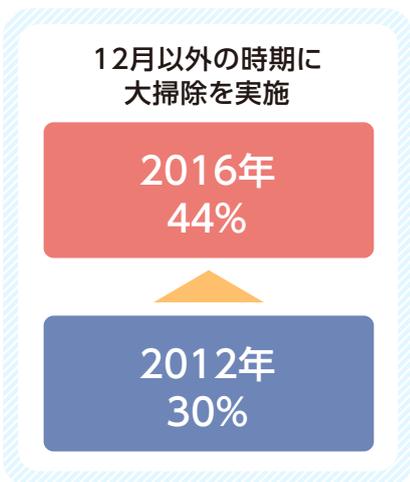
年末に大掃除をしなかった理由では、「汚れが酷くない/普段の掃除で十分」が最も多い回答でしたが、「年末以外の時期にやる」というポジティブな理由が「休みが少なかった/短かった」「体調が悪かった/疲れていた」等を上回りました(図3)。



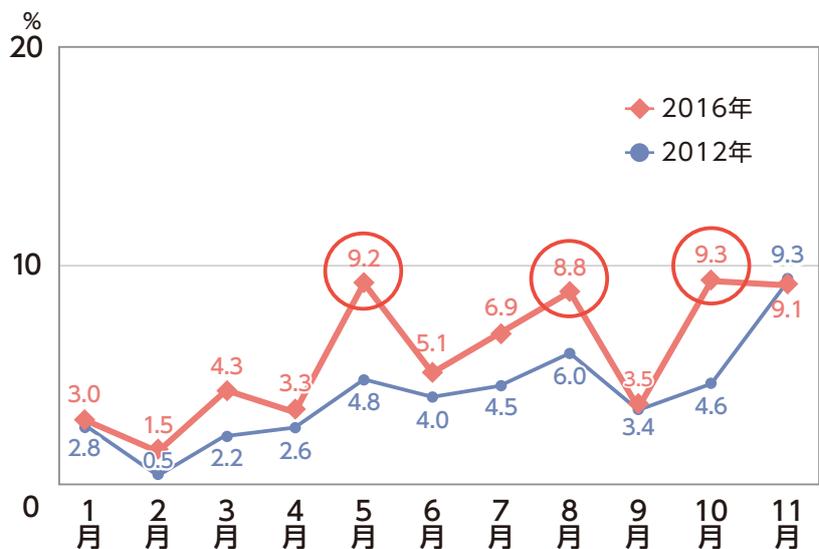
2016年末に大掃除を行わなかった 20~60代既婚女性 479人(複数回答/上位8項目)
(花王 生活者研究センター調べ)

(図3) 2016年末に大掃除を行わなかった理由

12月以外に大掃除を実施している家庭は、2016年では44%で2012年に比べて10%以上高くなっていました(図4)。実施した月別では5月、8月、そして10月の実施率が大きく伸びています(図5)。共働き世帯の増加や生活スタイルの多様化などにより、まとまった時間を取りやすく、気温が高い時期に実施したり、年末に向けて前倒しをして早めに掃除を始めるなどの工夫をしていることが考えられました。



20~60代既婚女性 各1,000人
(花王 生活者研究センター調べ)



20~60代既婚女性 各1,000人(複数回答)
(花王 生活者研究センター調べ)

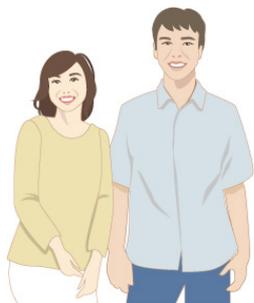
(図4) 12月以外の時期の大掃除実施率

(図5) 12月以外に大掃除を実施した月

それぞれの家庭の生活スタイルや季節に合わせて実施

年末以外の時期に大掃除を実施している人へのインタビュー調査では、それぞれの時期に実施する理由と利点がみえてきました。

年末までに終わるように前倒して実施



2ヶ月かけて少しずつ進め、家じゅうをきれいにして新年を迎える。

- キレイにして年を越したいが、12月に入ってから始めると間に合わない。寒くなる前に窓周りの掃除をした後、玄関から一か所ずつ計画的にやれば年末までに終わる。
- 寒い時期に大がかりな掃除は非合理的。まだ暖かい11月だと体も動き、やろうという気持ちになる。

Aさん(48歳)

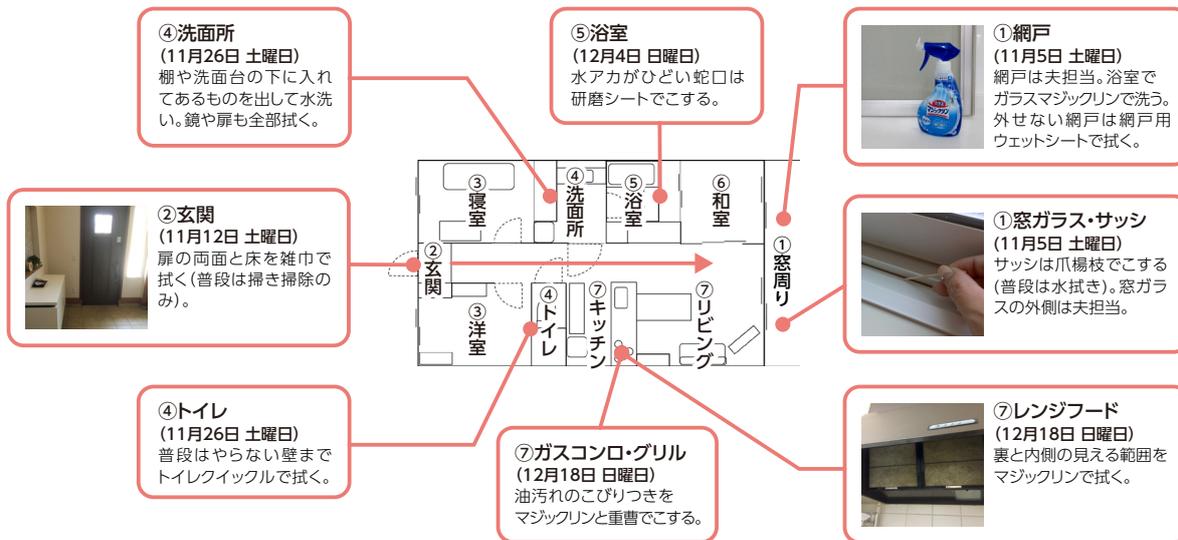
主婦歴20年、短時間パート

夫:47歳 会社員、子供なし

築・居住12年 賃貸集合住宅

大掃除の捉え方

- 年末にするもの。
- 家中、全部の場所を掃除する。
- 普段していない場所だけでなく、普段の掃除を丁寧にすることも大掃除。



他の意見

窓ガラスや網戸は、寒い時期より気候が良い時期にやる方が楽なので10月に実施。
(44歳)

仕事が休みの日にしか出来ないから、12月だけだと終わらないので、10~11月にカーテンの洗濯、11月に床のワックスがけ。(54歳)

毎年まだ暖かい11月中に終わらせ、12月のはのんびりしている。暖かい時期のほうが能率が上がる。
(64歳)

部分的に年末以外の時期にずらして実施



Bさん(35歳)
主婦歴8年、専業主婦
夫:32歳 会社員
子ども:3歳女
築・居住5年 戸建て持ち家

水を使う大掃除は8月に実施。
計画的に掃除することで気持ち良く過ごせる。

- 気温の高い時期にやれば網戸もすぐ乾くし、玄関のタイルもベランダも乾きやすい。
- 夏休みは夫がいるので、子供を見てもらって自分が掃除できる。

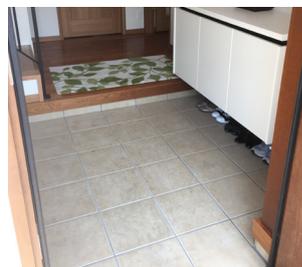
大掃除の捉え方

- 普段は面倒でやらない、年1,2回する掃除。
- 玄関、2階ベランダ、網戸、リビングの床など。
- 夫の夏休みと冬休みに協力してやる。



網戸

はずして水をかけ、洗剤を使って、スポンジでこする。



玄関のタイル

水と洗剤をまいて、デッキブラシでこする。普段は週3~4回掃き掃除。

2階ベランダ

1階からバケツで水を持って上がり、水と洗剤をまいてデッキブラシでこする。

他の意見

夫の夏休みを利用して、換気扇や照明器具のカバー、お風呂の隅々など、普段届きにくい場所を一緒に掃除する。

(35歳)

夏に、油污れがひどいキッチン全般の掃除をした。冬場より気温が高く、油污れが落ちやすい。

(44歳)

カーテンは厚手もレースも吊るして干すので、窓を開けて乾かしやすい7~8月に実施。

(44歳)

浴室やガス台周辺は、梅雨入り前、5月の天気の良い日に、窓を大きく開けて換気しながら掃除する。

(66歳)

大掃除をまるごと年末以外の時期に実施



大掃除をまるごとゴールデンウィークへ移動。

- ゴールデンウィークはまとまった時間を取りやすい。家族みんなのできる。
- 年末だと水周りの掃除は手が冷たくてつらいし手荒れする。
- 暖かい時期のほうが汚れも落ちやすい。

Cさん(37歳)
主婦歴11年、専業主婦
夫:42歳 会社員
子ども:小1男、3歳男
築13年、居住11年
戸建て持ち家

大掃除の捉え方

- 窓、網戸、玄関、レンジフードなど普段しない所、1人で出来ない所をみんなで掃除する。



網戸

ワイパーで拭く。外さないで、出来る範囲をやる。



窓のレール

ガラス用洗剤と乾いた布を使って拭く。綿棒やおしり拭き、100均のペットボトルブラシも使用。



玄関のたたき

掃き掃除をした後、濡らした新聞紙を撒いて掃く。

窓

ガラス用洗剤と乾いた布を使って拭く。

レンジフード

フィルターを外し、重曹を溶かした水に漬け込む。フードの上は、アルコール除菌スプレーをキッチンペーパーにつけて拭く。中は手の届く範囲まで。ファンを外したことはない。

他の意見

毎年、ゴールデンウィークの休みを使って大掃除と決めている。
(57歳)

年末年始は忙しいので、時間を取れる時期にやる。
(28歳)

春に大掃除している。寒い時期に水を使う掃除をしたくない。
(61歳)

年末に掃除が無理なく終わるように早めに始めるだけでなく、自分や家族がやりやすい時期に合わせて実施したり、その時期にやりやすい場所・落としやすい汚れを考えて実施するなど、「年末にやるもの」という考え方に捉われずに大掃除に取り組んでいました。

家をきれいに保ちたいから、 年末にこだわらずに大掃除

共働き世帯の増加などの影響で年末の時間の使い方は多様化してきています。大掃除は「年末に家中をきれいにする特別な掃除」という捉え方がまだ主流ですが、年末以外の時期に実施する特別な掃除も大掃除と捉えて、自分や家族の時間が取れる時に柔軟に行っている家庭がみられます。

また、普段からこまめに掃除をすることで家をいつもきれいに保つ、という傾向も見られました。「できるだけ家をきれいに保ちたい」「なるべくものを置かずにシンプルなインテリアに囲まれて落ち着きたい」というおもいは若い世代を中心に高まっていて、それが大掃除のあり方にも影響を与えているようです。

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/lifei/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。